

タカとフクロウに親しむ



タカ、ハヤブサ、フクロウ、コンドルなどを猛禽類(もうきんるい)と呼びます。空の食物連鎖の頂点に立つ、力強く美しい鳥たちです。

卵から人間に育てられ、訓練を受けたタカとフクロウの美しく迫力のあるフリーフライトと交流をお楽しみ下さい。

約束!

展示している鳥に触らないで

強く鋭いツメを持っているので大変危険です。

驚いて鳥が暴れてケガをすることがあります。

鳥の後ろに立たないで

鳥が怖がり、暴れてケガをすることがあります。

大きな声やからかうような仕草などでおどかさないで

人に比べたらみんな小さく弱い動物です。

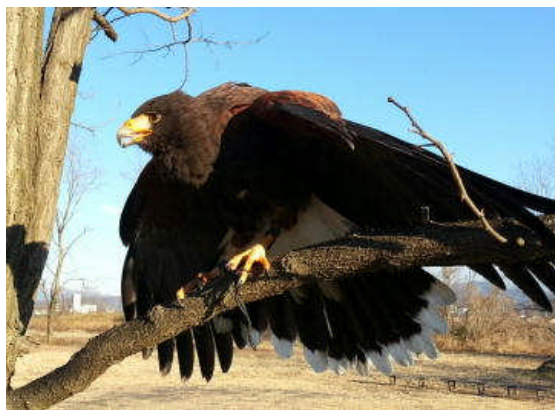
人は冗談のつもりでも鳥にしたら「攻撃」された、としか思いません。

猛禽さん達の紹介

健康状態等により、当日会場に連れてこられない鳥もいますのでご承知下さい。

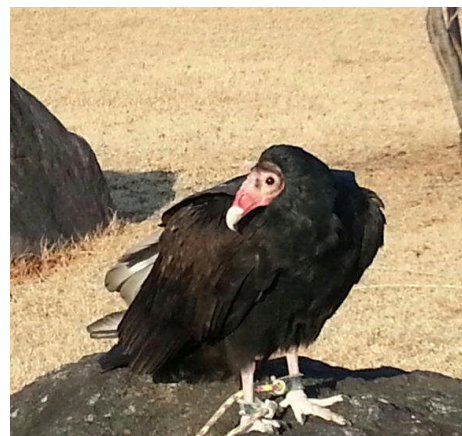
ベニム
紅夢

ハリスホーク



ヒメ
秘夢

ヒメコンドル



ムウタ
夢羽太

アフリカオオコノハズク



ジムニ
慈夢児

ユーラシアワシミミズク



(参考)
法律について
サイテス

通常は CITES (サイテス) と短縮されて呼ばれている。

正式には Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora

(絶滅の恐れのある野生動植物の国際取引に関する条約)

一般に日本では「ワシントン条約」として呼ばれて知られているものです。

取引の規制を受ける動植物は付属書 1 ~ 3 に記載される。

付属書 1 = 絶滅の恐れのある種。商業目的の取引は禁止。

学術目的の場合は、輸出許可証、輸入許可証が必要。

付属書 2 = 商業目的の取引は可能だが、輸出許可証または証明書が必要。

付属書 3 = 輸出許可証または原産地証明書等が必要。

輸出入の取引を規制して野生の動植物を保護する条約で、飼育を規制するものではありません。また付属書 2 と 3 については個体でなく輸出入時の種による証明書が出るだけであるため、該当動植物に個別の証明書は発行されません。

今日のタカとフクロウは「サイテス(付属書) 2」です。

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律

下記を目的とし、指定種の飼育に関しては各都道府県に登録が必要である。

- ・ 指定種の捕獲や所持・流通(生きた個体のほか、全体の剥製、標本、器官およびその加工品を含む)等の規制による個体保護
- ・ 指定種の生息地内の開発等を制限する生息地保護
- ・ 生物の保護増殖

今日のタカもフクロウもこの指定に該当しません。

特定動物(動物の愛護及び管理に関する法律(動物愛護法、動物愛護管理法))

特定動物(とくていどうぶつ)とは、人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれがある動物として政令で定められる動物種のことである。

(例;トラ、ワニ、カイミツキガメ、ニシキヘビ、イヌワシ、ハクトウワシなど)

特定動物の飼養または保管を行おうとするものは、あらかじめ都道府県知事の許可を受けなければなりません。

今日のタカもフクロウもこの指定に該当しません。

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律

きめられた場所と期間であれば、きめられた鳥獣を捕獲することができ、その際「法定猟法」以外の猟法であれば環境大臣または知事の許可を受けずに鳥獣の捕獲等を行うことができる場合があります。「法定猟法」とは銃器、網または縄等を使用する猟法その他環境省令で定める猟法をいい、タカはその狩りのための道具には該当しないので、現在の日本では「鷹狩り」のための資格も許可も必要ありません。

鷹狩りについて

鷹狩りの歴史は古く、エジプトのピラミッドにも鷹狩りの様子が描かれていおり、日本でも弥生時代の土器にも鷹を腕にのせた人が作られ残っています。

「鷹匠」という言葉は徳川幕府の役職であり、昭和の初めまで宮内庁にも「鷹匠」がいましたが、現在は各愛好家団体が独自に「鷹匠」を名乗り、伝統を引き継いでいるのみです。

「鷹狩りをする人」=「鷹匠」であれば、現在国内には100名以上の鷹狩り愛好家である「鷹匠」がいます。

猛禽の説明

・ハリスホーク

アメリカ原産のタカ。和名；モモアカノスリ（腿赤鷲）

タカには珍しくグループで狩りをします。

欧米ではウサギ狩り用のタカとして、また国内では調教しやすいタカとして大変人気のタカです。

紅夢は日本でブリード（人工繁殖）された茨城産まれ of タカです。

・アフリカオオコノハズク

アフリカ原産。最近テレビ番組の中で「ポポちゃん」として有名になった体の大きさを
変化させる小型のフクロウです。小型のフクロウは非常に臆病で神経質で、野生では虫
を中心に小型の動物を捕まえて食べています。夢羽太はアフリカ現地で産まれました。

・ユーラシアワシミミズク

ユーラシアワシミミズクは北海道のシマフクロウとならび、世界で一番大きなフクロウ
で最大体重4kgにもなる個体もいます。野生ではキツネや子鹿、夜間になればタカも
捕まえる最強のフクロウであり、夜空では最強の猛禽です。

慈夢児はヨーロッパ原産で茨城のブリーダーの元で生まれたユーラシアワシミミズク
（学名ブボ・ブボ・ブボ）であり、北海道に少数いる保護の対象になっているユーラシ
アワシミミズク（学名ブボ・ブボ・ボリソフィ）とは別亜種になります。

・ヒメコンドル

アメリカ原産のコンドルの仲間。コンドルの仲間中最小。「ひめ」とは「小さい」動物
や植物につける名称です。小さいと言っても他のコンドルとの比較して小さいと言うだ
けで、ヒメコンドルは翼を広げると170cm以上になる大きな鳥です。コンドルの仲間は
狩りをせずに死んだ動物を見つけて食べます。特にヒメコンドルは犬よりもいいと言わ
れる臭覚を使って、上空から10数キロ離れた死んだ獲物まで探し出します。

（おすすめ参考書籍）

- ・ 猛禽類の医・食・住
- ・ 世界猛禽カタログ
- ・ ザ猛禽類

パンク町田 著

パンク町田 著

波多野鷹 著

どうぶつ出版

どうぶつ出版

誠文堂新光社